

第28回

うつのみやこども賞だより

平成23年度 第3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『羽州ものがたり』

菅野雪虫／作 遠田志帆／絵（角川書店）



～読んだ本の感想より～

- ムメが春名丸を助け、ムメをカラスが助けたところが一番よかったです。
- ムメやカラスや春名丸が、強い大人にも立ち向かっていったところは勇気があると思いました。
- ムメやカラスや春名丸のそれぞれを思いやる気持ちがよく伝わってきました。感動しました！
- 仲間のすごさ、大切さ、強さ、思いやり、とても大切で温かい絆なんだと思います。
- 春雪がつかまり、ムメが助けに行くところが面白かった。
- アキ（鷹）が川に捨てられる、と聞いたときに、びっくりしてかわいそうだと思ったけど、ムメが育てて立派な鳥になれたからよかった！
- ムメの村が戦に勝ち、罰せられなくてよかった。

『宇宙のはてから宝物』 井上林子／作（文研出版）

- この本は、家族や友達の大切さを教えてくれる本だと思った。
- 由宇とあかりがとても仲良くて、本当に2人の夢がかなうといいな、と思う本だった。
- あかりと由宇が宝物を探しに行くところがワクワクしました。
- あかりの宝箱の中身を復活させようとする由宇がとてもやさしい人に思えた。
- ハメハメハ大王のお城に行っても会いたいです。由宇の夢とあかりの夢にとっても感動しました。

『地をはう風のように』 高橋秀雄／作（福音館書店）

- かげぐちや悪口を言われても前向きに生きていくコウゾウはすごいと思った。
- コウゾウの仲間と家族の絆が感じられました。
- 毎日田んぼの手伝いをしているなんてえらいと思いました。私ならすぐに逃げ出すと思います。
- 日光連山や男体山など、栃木のことが書いてあってよかった。
- おばあちゃんとコウゾウの絆がよかったです。
- 「おれだって、コウゾウだって、おばやんだって、みんな星に見られて生きているようなもんさ。」という言葉が心に残りました。

『眠り姫とバンパイア』 我孫子武丸／作（講談社）

- お父さんが「わたし」のことを「眠り姫」とよんだところが面白かった。
- 家庭教師が、教えている子供の家族のひみつをといていくところが面白かった。
- 〇〇がバンパイアというところに驚きました。
- 優希とアユミ、二人の気持ちが書いてあったので、分かりやすかったです。
- パパの真実があばかれていくところが面白かった。